

事業所名 にこにこ(児童発達支援)

支援プログラム(参考様式)

作成日 R7 年 3 月 28 日

法人(事業所)理念		認定NPO法人活き生きネットワーク (私たちは、高齢者、障害者、乳幼児をはじめあらゆる方々が「活き活きと生きる」ための活動を行っています。)		
支援方針		笑顔いっぱいの日々を過ごせるようひとりひとりに寄り添った支援をいたします。		
営業時間		8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし 要相談
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	日々のバイタルチェック・全身状態の呼吸状態の細やかな観察をする事で、体調を安定させ定期的な通所が出来るよう支援していきます。 医療的ケア児など、特別配慮が必要な児童には、排痰ケアや酸素吸入、胃ろう注入などしていきます。 こども達の心も身体も、リラックスして安心して過ごせるよう環境づくりに留意する。 家での様子を共有して、毎回受け入れ時スタッフ間でも共有をし、小さな変化を見逃さない様にします。		
	運動・感覚	感情に働きかける、遊びやイベント制作・活動などを通じて、様々な経験をして、心と体の成長発達を促していきます。 障害の特性に合わせた安楽な姿勢で、様々なポジショニングをしていきます。 近隣の公園や、児童館などにも出掛け、変わりゆく季節を感じられるようにして、活動をしていきます。 常にリラックス出来る様、マッサージや・体操をゆったりとおこないます。感触を感じられるような遊びや、おやつ作りなどでいい匂いを感じられるタイミングを作っていきます。		
	認知・行動	朝の会や帰りの会・昼食の音楽や午睡時の音楽など、ルーティン化させる事で、見通しをたてられる様にしていきます。 他児との関りや、放課後等デイサービス・生活介護のお兄さんお姉さんとの関りで、仲間意識を持ちルールを学んでいきます。 物事に入る前にはまず説明の声掛けを丁寧にしていく。自ら興味関心を持ち、やりたいという気持ちを大切にしていきます。 菜園を活用し、種まきや苗植えをして、育てる過程での成長を見守り、情緒に働きかけます。		
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを伝えられる様、表情・動作・発声などを通じて表現していく。支援者も受け止められる様サインを見逃さない様にしていきます。 伝えている物がなんであるか、反復をして示し共感を得られる様にしていきます。 仲間にも自分の気持ちが伝わる様、時にはスタッフが間に入り伝えていきます。		
	人間関係 社会性	顔なじみのスタッフや利用児・者と、沢山ふれあい信頼関係を構築して、安心できる場所にしていきます。 法人の様々な利用児・者・スタッフと関わる事で、自分を知っている人を増やしていきます。 近隣の住民とも関りをもてる様、地域行事や法人の全体行事等に参加をしていきます。		
家族支援		緊急時の受け入れ、家族兄弟の行事等、柔軟な対応延長等相談をしながら行います。家族の抱えている問題など、個人情報に気をつけ、ワンストップせず、相談員や関係機関と情報共有をして一緒に考えていきます。	移行支援	就学に向けての相談、移行支援先としての、放課後等デイサービスの受け入れ。他事業所の情報提供等。児童館の利用・障害の有無に関係なく、地域住民との関りを持ち、地域に溶け込める様心掛けます。
地域支援・地域連携		近隣の児童発達支援事業所のイベントへの参加や、放課後等デイサービスとの交流等を通じて、地域での連携を図ります。また移行に向けての選択先にもなったら良いと思います。	職員の質の向上	事業所内の定期的な研修や、嘱託医からの指導等常時研修を行います。外部研修にも参加をして見聞広めていきます。外部より専門職(リハビリ等)の講師を招き、個々人にあった関わり方について学んでいきます。
主な行事等		季節に合わせた行事、正月・節分・ひな祭り・夏祭り・クリスマス会・進級お祝い会・誕生日会など開催していきます。毎回趣向を変え、楽しめる様提案していきます。行事に向けて、準備の段階から利用児と一緒に進めていきます。行事終了後には振り返りをして次回開催時参考にしていきます。 法人全体で行うフリーマーケットや、運動会・クリスマス会等、家族単位での参加が出来る為お誘いしていきます。		